

は し が き

国立国会図書館調査及び立法考査局では、重要な国政課題について各分野の調査担当職員がプロジェクト・チームを編成し、分野横断的に調査・分析を行う総合調査を実施しております。平成23年・24年におきましては、「技術と文化による日本の再生—インフラ、コンテンツ等の海外展開—」をテーマに、調査を進めて参りました。この報告書はその成果を取りまとめたものです。

これまで我が国は、20年近くにわたる経済的な閉塞状況を打破するために、様々な方策を模索しつつ、新たな道筋を見出そうとしてきました。加えて、東日本大震災は、我が国に甚大かつ深刻な損害をもたらし、今後の経済成長に係る検討や戦略に対して、多大な影響を及ぼすことになりました。

そうした中で、高い技術力、ノウハウ、文化的創造性といった我が国の強みを再認識し、これらの一層の本格的展開によって、我が国経済の復旧・復興とさらなる成長を加速していかねばならない、そういう局面に現在はあるのではないかと考えます。

この意味で、例えば安全・安心に関わる優れた技術力を有する日本のインフラ関連産業の海外展開や国際的に高い評価を得ているコンテンツ等のソフトパワーを活用した取組みは、今後の経済成長における大きなポイントになることと思われまます。

そこで、東日本大震災後の我が国経済の進路と成長戦略を考えるにあたり、インフラやコンテンツ等をめぐる現況と政策課題を再検討し明らかにすることが重要であると考えられます。この報告書が、「日本の再生」というテーマを考えるにあたり、国政審議の一助となることを願っております。

なお、この総合調査の一環としまして、本年1月にスイスから国際経済学者のリチャード・ボールドウィン氏（ジュネーブ高等国際問題・開発研究所教授）を招聘し、「世界経済の動向と日本の成長戦略—東日本大震災後の課題—」と題して、国際政策セミナーを実施いたしました。このセミナーの記録集も刊行しておりますので、併せてご高覧賜れば幸いです。

平成24年9月

調査及び立法考査局長 山口 広文